| 科目名 | 63.子どもの成長発達 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | 1年次 | 科目区分 | 専門分野 | 単位数<br>(時間) | 1単位<br>（30時間） |
| ディプロマポリシー(DP) | □ 人を大切にするこころ<br>☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力<br>□ チームの中で連携・協働するための力<br>□ 専門職業人として自己研鑽する力 | | | | |
| 科目目標 | 子どもの成長発達について理解し、小児看護の役割について理解できる | | | | |
| 到達目標 | 大人とは違う子どもの成長発達について理解し、小児看護の役割が説明することができる | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験（95点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（5点）による総合評価を行う | | | | |
| 使用<br>テキスト | 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学（１）　小児看護学概論　小児臨床看護総論<br>医学書院 | | | | |
| 参考文献 | 看護系標準教科書　小児看護学　オーム社<br>ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護　メディカ出版 | | | | |
| 教育方法と学生への期待<br>(求めること) | 「子どもの成長発達」では大人とは違う子どもの成長発達について理解し、小児看護の役割を学んでいきます。まずは、小児看護学実習（保育所）で健康な成長発達を遂げている子どもとたくさん関わってきてください。そして、子どもはどのように生活しているのか、どのように遊びながら成長しているのか感じた気持ちを大切にしてください。その気持ちや学びを授業で周りの学生と共有してもらいます。また、基本的な知識と実際の子どもを照らし合わせて成長発達の理解を深めていきます。皆さんは、実際にあった子どもの様子を思い出しながら、基本的な知識を学んでいきましょう。そして、学習内容は教科書内にあります。主体的に学習を進めていきましょう。 | | | | |

| 回 | 学習項目 | 学習内容 | 授業<br>方法 |
|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの定義 | 子どもの特徴とは<br>成長・発達とは | 講義 |
| 2 | 乳児期の成長・発達に応じた生活への支援 | 乳児期の成長発達<br>乳児期への養育および看護 | 講義<br>演習 |
| 3 | 幼児期の成長・発達に応じた生活への支援<br>学外演習（学校保健・広場事業への参加） | 幼児期の成長発達<br>幼児期への養育および看護 | 講義<br>演習 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4 | 学童期の成長・発達に応じた生活への支援<br>学外演習（学校保健・広場事業への参加） | 学童期の成長発達<br>学童期への養育および看護 | 講義<br>演習 |
| 5 | 思春期・青年期の成長・発達に応じた生活への支援 | 思春期・青年期の成長発達<br>思春期・青年期への看護 | 講義<br>演習 |
| 6 | 栄養・運動について<br>成長発達の評価<br>学外演習（学校保健・広場事業への参加） | 子どもの栄養<br>子どもの運動機能<br>成長発達の評価 | 講義<br>演習 |
| 7 | 子どもの成長発達（まとめ） | 既習の知識と実際の子どもとの関わりを通して、子どもの成長発達を理解 | 講義<br>演習 |
| 8 | 小児医療・小児看護の変遷 | 小児医療・小児看護の変遷とともに、現代の小児看護の課題とは<br>小児看護の目標と役割 | 講義 |
| 9 | 病気を持つ子どもと家族 | 病気が子どもと家族に与える影響<br>子どもの健康問題と看護 | 講義 |
| 10 | 子どもの感染症 | 子どもの予防接種<br>学校保健について<br>子どもの医療費の支援 | 講義 |
| 11 | 子どもの成長発達を意識した遊びについて① | 子どもの成長発達と遊びの必要性<br>子どもの成長発達を促す遊び道具の製作 | 講義<br>演習 |
| 12 | 子どもの成長発達を意識した遊びについて② | 子どもの成長発達と遊びの必要性<br>子どもの成長発達を促す遊び道具の製作 | 講義<br>演習 |
| 13 | 子どもの遊びを体験する | 遊び体験<br>子どもの成長発達を促す支援の必要性 | 講義<br>演習 |
| 14 | 子どもの権利<br>プレパレーション | 小児と家族の諸統計<br>子どもの権利、小児看護における倫理<br>子どもとのプレパレーション | 講義<br>演習 |
| 15 | 子どもの虐待<br>子どもと家族を取り巻く社会<br>まとめ | 子どもの虐待とは<br>子どもの虐待で求められるケアとは | 講義 |